

## 共同研究講座の拠点：テクノアライアンス棟

2011年6月供用開始  
鉄骨造・地上9階・約12,000㎡



実践的な**人材育成の場**を  
キャンパス内に!!



オープンバージョンの  
一大拠点の構築

共同研究講座の  
さらなる発展形態も構想し、  
実現している

### 協働研究所

共同研究講座をさらに発展させ、  
キャンパス内で企業と協働しながら、  
最先端研究の推進、企画力を備えた  
高度人材の育成など、多面的な**産学  
共同の活動を展開する研究所**

### 協働ユニット

**複数の企業と大阪大学が共通の課題**  
について研究開発、人材育成、利用  
促進などの活動を行う組織

## 共同研究講座と協働研究所の設置状況

### 共同研究講座

以下をはじめ、26講座・部門設置

設置部局	講座名称	設置年月	終了予定
大学院 工学研究科	大阪大学 コマツ共同研究講座 (建機等イノベーション講座)	2006年7月	2015年3月
	ダイキン (フッ素化学) 共同研究講座	2006年6月	2015年3月

1講座あたりの平均年間研究費：約3千万円

### 協働研究所

設置部局	講座名称	設置年月	終了予定
大学院 工学研究科	カネカ基盤技術協働研究所	2011年7月	2014年3月
	日東電工先端技術協働研究所	2011年6月	2014年6月
	パナソニック材料デバイス基盤協働研究所	2012年4月	2015年3月
産学連携本部	アジレント・ライフサイエンス協働研究所	2011年10月	2016年6月

1研究所あたりの平均年間研究費は、共同研究講座の1講座あたりよりもさらに高額

講座を増やすために  
より多くのスペースを確保したい！

### 中国に対する日本の強み

日本は層の厚い産業界、多くの企業を有しており、強力な産学連携活動を展開できる可能性がある。

